

「看護とケア」の授業にて

令和3年9月17日（金）

本日5時間目の「看護とケア」の授業では、神戸市看護大学教授の高田昌代先生と、高田先生の研修を受けている6名の学生さん（「ぴあっこ」と言うそうです）によるピアカウンセリングのワークショップを行いました。ピアカウンセリングとは「同じような立場で悩みを抱えた人たちが集まって、同じ仲間として行うカウンセリング」のことです。大人に見られているというプレッシャーをかけない配慮から教師など大人は廊下からの見学でしたが、生徒たちはピアカウンセリングの趣旨も分かった上で楽しく授業を受けていました。



令和3年9月21日（火）

本日5時間目の「看護とケア」の授業では、先週に引き続き、神戸市看護大学の、ピアカウンセラー（ピアっこ）6名によるピアカウンセリングのワークショップ2回目を行いました。前回と同様にテーマは「アクティブリスニング～十人虹色～」。

それぞれが抱く感情や表現の仕方が違うことを認め合いながら、相手の思いを引き出す聞き方について、前回は知識を学び、今回はペアになって実践しました。

「アクティブリスニング」は、看護師はもちろん、将来どんな職種についても必要なことであると伝え、アイスブレイクを交えたり、生徒に近寄って話を聞き、生徒の意見には拍手をするなど、ピアっこさんたちの様々な手法で和やかに進行し、生徒たちの心もほぐれて、楽しく学ぶことができました。

また、ぴあっこさんからは、看護学部の学びや学生生活などについても話があり看護系の進路を目指す生徒には貴重な機会となりました。

